

21Hのみなさんへ

こんにちは！小原です。みなさん、いかがお過ごしですか？体調は崩していませんか？みんなとの別れがあまりにも突然で、もっと一緒にやりたいこともあったのに、残念でなりません。ただ、それを嘆いていても仕方ありませんね。4月からまたみんなに会えることを祈っています。

最終日のLHで、「明日以降は『休校』ではなく『自宅学習』期間です」と言ったのを覚えていますか？この期間、みなさんが過ごしているのは「休校」ですか？それとも「自宅学習」ですか？みなさんが、まずは元気で、そして、有意義な時間を過ごしてくれていると信じています。

有意義な時間を過ごす1つの案として、「普段あまり考えないようなことを考えてみる」ことをオススメします。例えば、「身近な数学」について。最後の数Ⅲの授業で、答案返却後の残りの時間に何をしたいか尋ねたとき、「身近な数学についての授業！」と言ってくれた人がいて、「材料がもっとも少なくて済む缶の形は？」について考えましたね。そして、数学を使って得られた解と、実際に流通している缶の形とが一致していない点について、その理由を考えました。普段は問題を解いて終わり！かもしれませんが、そのさらに一步奥まで考えを巡らせてみるのも楽しいと思います。ちなみに、授業では数Ⅲの微分の知識を使って解きましたが、実はアレ、数学ⅠAⅡBまでの知識を使って解くこともできます。数Ⅲを選択しているみなさんはもちろん、理数演選択者のみなさんも、ぜひ考えてみてください。そして、解ける解けないは別として、身近な数学について考える機会にしてくれると嬉しいです。

各自の判断でいろんな過ごし方ができるこの期間、来年以降の春休みにもできるようなことに時間を割くのではなく、今年の春休みにしかできないこと、今年の春休みにこそやるべきことに取り組んでみてはどうでしょう？

それでは、また4月に元気な顔を見せてください！

小原一顕